

北大小児科 特別集談会



9月27日(月)

『遺伝学を武器に小児神経疾患に挑む』

小児神経疾患の中でてんかんは診断と治療ができましたが、先天性疾患や知的障害は、わからない、なおらない疾患でした。ゲノム医療や遺伝子治療の発展が進み、わからない先天性小児神経疾患の30%はエクソーム解析で診断できる様になり、脊髄性筋萎縮症に対する核酸療法や遺伝子治療の成功は小児神経疾患が治療対象となることを示しました。しかし、まだまだ未解明の疾患も多く、中枢神経疾患の治療は発展途上です。

私たちの名古屋市立大学での10年間の研究成果をお話したいと思います。

名古屋市立大学大学院医学研究科
新生児・小児医学分野

齋藤 伸治 教授

18:00～19:00(予定)Web(Cisco Webex)にて開催

←← どなたでもお気軽にどうぞ！

パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい
secretary-ped@med.hokudai.ac.jp



お問合せ・連絡先 小児科医局 (内5954)